

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	リーディング2	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース（キーボード専攻）	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	金澤法皇	実務経験の有無・職種	有 音楽講師、鍵盤講師、鍵盤奏者		
学習目的					
この科目を受講する学生は、鍵盤楽器におけるあらゆる基礎となる知識、奏法について学び、プロとして必要な演奏技術と、プロとして最低限の読譜力を養うのが目的です。と同時に、音楽においてだけでなく、実社会において全ての事象には学ぶことや、考えること、思考の必要性の重視も説いていく事を目的とします。					
到達目標					
この科目では、学生が鍵盤楽器の読譜や奏法を基礎から学び、プロとして必要な技術、曲づくりへの発展、様々なジャンルへのアレンジにおいて必要な技術などをキーボードを使って学び実践して行く事を目標とします。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、鍵盤楽器を使って様々な音楽的素養と、演奏における技術、そして特に必要な読譜力を養うのが主な目的であり、それに伴い、作曲、アレンジ力を養うための技術も身につける。教室には各個人に1台のキーボードを用意し、実施する。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	実践形式での授業内で理解度を把握するので、実施しない。		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するためにたまに実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	前期総復習1	テンションコードの実践、初見			
2回	前期総復習2	テンションコード全般の実演の総復習			
3回	ポピュラー音楽でのテンション感	主に洋楽と邦楽のリーディング的思考の相違と、テンション感の使い分け 応用			
4回	ジャズ、R&B	ジャジーなサウンドの楽曲のコード分析と初見 応用			
5回	初見演奏 応用1	実践 課題曲を使用して譜面の初見			
6回	初見演奏 応用2	プロの実践 課題曲を使用して譜面の初見			
7回	初見演奏 応用3	今までの譜面の初見を活かして プロの実践			
8回	ジャズ1	ジャズの初見を解説し実践			
9回	ジャズ2	ジャズの初見とインプロを解説し実践			
10回	ジャズ3	ジャズの初見とインプロを課題曲を使用して実践			
11回	アレンジの読譜1	インプロしながらの初見を解説し実践			
12回	アレンジの読譜2	課題曲を使用しインプロしながらの実践的初見			
13回	総復習1	課題曲を使用して他楽器とのアンサンブル			
14回	総復習2	課題曲を使用して他楽器とのアンサンブルで課題曲を初見で行う			
15回	まとめ	アンサンブルの発表・評価			